

地域おこし協力隊活動日誌



とうだ かずま
任田 和真さん
(高階地区)

市で活動する地域おこし協力隊の取り組みを今月号から年12回で掲載していきます。

「集落の教科書」が完成しました！
「良いことも、そうでないことも、
ちゃんと伝えたい」

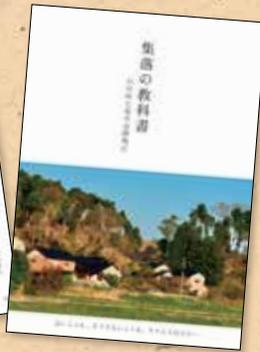
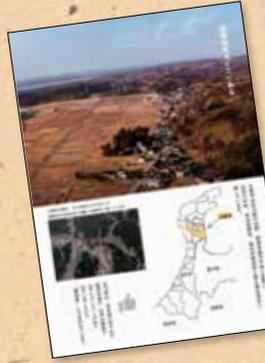
田舎暮らしの暗黙の了解であったルールやしきたりを書き記した「集落の教科書」。昨年度から約1年かけて、編集長としてたかしな地区地域活性化協議会と共に作成しました。

きっかけは、移住者である私自身が、新しい環境での暮らしに戸惑いを覚えることが多々あり、移住前にその地域での暮らしを予習できるものがあつたらいいなと思ったからです。調査を進めていく中で、同じ地区内でも町会によって町会費の金額や集金方法、祭りの規模や日時など異なる点が多く、それを各町会長同士でも知らないということを知り驚きました。

今回、あえて書き記すことで、ルールやしきたりを煩わしく思い、移住したいと思う人が減るのではとの意見が住民から寄せられました。しかし、これから高階地区に住む人たちがスムーズに地域に馴染み、安心して暮らせるように、集落の教科書が地域と移住者を繋ぐ架け橋になってほしいと思いを込めて、第一版完成に至りました。市役所や各地区コミュニティセンターなどに配布しましたので、一度ご覧になっていただければ幸いです。



各地区の町会長からルールやしきたりを聞きました。



「地域おこし協力隊」制度は、都市部から過疎地域などへ移住し市から委嘱された人が、住民と協働して地域課題の解決に取り組むことです。



CLOSE UP FRESHMAN!!

輝け！ ななおの星

SHINE!
NANO'S STAR

ま と ば しょう た
的 場 翔太さん 21歳

◆仕事は？

七尾郵便局で主に配達業務をしています。また、年賀状などの郵便局がお勧めする商品の営業もしています。

◆趣味は？

音楽鑑賞と体を動かすことです。仕事前に音楽を聴いて疲れを癒しています。小学生の頃から野球をしていて、休みの日にはチームの人と楽しく試合するなど、いい息抜きになっています。

◆理想の人は？

気配りができて周りから信頼される人です。周りの人とたくさんコミュニケーションを取ってとても信頼されている上司がいて、私もそういう人になりたいです。

◆七尾の好きなところは？

景色がきれいなところや地域の人が出ただけでも辛いような天気の日、声を掛けてくれたり差し入れをしてくれたりと、皆さんに支えられています。

◆将来の夢は？

みんなから信頼、尊敬される郵便局長になることです。局長になったら営業成績が上位で無事故無違反の局を目指したいです。特に営業に力を入れて、役職が上がるように頑張ります。

地域おこし協力隊活動日誌

市で活動する地域おこし協力隊の取り組みを掲載します。



中島中学校旧校舎



寂しさをしみじみと感じながら灯をつける様子



校章をモチーフにしたキャンドル



ほんたに ともこ
本谷 智子さん
(中島地区)

平成30年5月6日 中島中学校旧校舎
感謝イベント「キャンドルナイト」

中島中学校旧校舎解体の決定を聞き「もし、この学校に通っていたら…」と考えると、とても寂しく感じました。地元の人など関わりがあった人たちが最後に訪問する機会を作りたい、変わりゆく姿を受け入れる準備をしてほしいと思ったのが開催の発端です。

当日は、縁のある幅広い年齢層の人が参加し、中島町壮年団有志によるかねや太鼓、中島中学校吹奏楽部による演奏が披露され、参加者全員で校歌を歌いました。そして、最後に校章をモチーフにしたキャンドル約600本に灯をつけ、惜別や感謝の思いを伝えました。また、イベントの開催をきっかけに旧校舎の解体を知り、一目見ようと訪れた人もいて、心から開催して良かったなとうれしく思いました。

他にも昨年は、和倉温泉駅一能登中島駅間開通90周年を記念した「中島駅まつり」や「かきマルシェ」などを開催しました。今後も中島町の皆さんの思いを実現できるような活動していきたいと思えます。

「地域おこし協力隊」制度は、都市部から過疎地域などへ移住し市から委嘱された人が、住民と協働して地域課題の解決に取り組むことです。

さあ、七尾城へ行こう

スポーツ・文化課 善端 直

今、七尾城が注目!

発掘や航空レーザー測量で屋敷地や石垣などの実態が徐々に解明。今では戦国時代を代表する山城として、全国的に注目されています。

苔むした石垣は宝の石垣

多くの人「何も残ってない。あるのは苔むした石垣だけ」と思っているでしょう。しかし七尾城の石垣は、自然の石をそのままの形で積み上げる野面積みという珍しい手法を使用。これほど壮大な野面積みは県内では見当たりません。どうして七尾城にだけ?重機がない時代にどのように巨大な九尺石を積み上げたのか?苔むした石垣が城造りの謎を投げ掛けてくれます。

この目で見てみよう

七尾城には石垣のほか広大な屋敷地やそれを分断する大堀切りなど、城の痕跡が多く残っています。当時の様子を復元したCG看板を参考に「難攻不落」の七尾城を想像しながら散策してみませんか。宝の石垣だけでなく、上杉謙信が絶賛した眺望が皆さんをお待ちしています。

七尾城 探訪

新連載

6月号から10回に分けて七尾城の魅力をお伝えします。



苔むした野面積みの石垣



幅約2.7メートル、重さ約2トンの九尺石 (写真中央の巨石)

足軽に扮(ふん)して七尾城を巡る春風亭昇太師匠

地域おこし協力隊活動日誌

市で活動する地域おこし協力隊の取り組みを掲載します。



にっ ぎょうへい
新田恭平さん
(崎山地区)

【「崎山いちご」を残したい！】

今年 は 天候 に 恵 ま れ、 赤 々 と し た み ず み ず し い 崎 山 い ち ご が 育 ち ま し た。 一 番 甘 み が 詰 ま っ た 朝 採 れ い ち ご で す。 そ ん な 崎 山 い ち ご を 使 っ た い ち ご ジ ャ ム も あ り ま す。 J A グ リ ー ン わ か ば の り で 販 売 し て い ま す の で、 見 掛 け た ら ぜ ひ 手 に 取 っ て 食 べ て ほ し い で す。

崎 山 い ち ご は、 昭 和 30 年 ご ろ に 崎 山 地 区 で 生 産 が 始 ま り、 市 内 唯 一 の い ち ご プ ラ ン ド で す。 高 齢 化 や 担 い 手 不 足 が 原 因 で、 現 在 は 数 軒 の 農 家 し か 生 産 し て い ま せ ン。「ど う に か し て こ の い ち ご を 残 し た い」と の 思 い か ら、 い ち ご の 会 と 共 に 旧 北 星 小 学 校 の グ ラ ウ ン ド で い ち ご の 栽 培 を 始 め ま し た。

今 で は 栽 培 の ほ か、 毎 年 市 内 の 幼 保 育 園 や 小 学 校 な ど の 子 ど も た ち を 対 象 に、 い ち ご の 摘 み 取 り 体 験 を 行 っ て い ま す。 普 段 で き な い 体 験 と い う こ と で、 子 ど も た ち や 先 生 か ら 大 変 好 評 を い た だ い て い ま す。 こ の 体 験 を 通 っ て 「 崎 山 い ち ご 」 が、 今 以 上 に 身 近 で 愛 着 を 持 っ て る い ち ご に な る よ う に、 こ れ か ら も 地 域 お こ し に 取 り 組 ん で い き ま す。



廃校を利用して無農薬で栽培したイチゴ



採れたての崎山いちご

摘み取り体験中の やまと保育園の園児たち

「地域おこし協力隊」制度は、都市部から過疎地域などへ移住し市から委嘱された人が、住民と協働して地域課題の解決に取り組むことです。

一番人気になる魅力とは

七尾市観光ボランティアガイドはろうななお 会長 佐野 藤博

七尾市観光ボランティアガイドはろうななおは、結成して今年で25年目を迎え、昨年度は約9,300人の観光客を案内しました。その中でも一番人気があるのは七尾城です。

本丸駐車場から1歩足を踏み入ると、青々とした力強い杉木立が迎え、木漏れ日と静寂な空間は戦国時代の当時と変わらない幻想的な雰囲気を感じさせます。遊歩道を進むと、パンフレットの表紙である杉木立から徐々に垣間見える4段の野面積みの石垣が現れ、観光客はこぞってその壮大さに圧倒されます。息を切って石段を上がりようやく本丸にたどり着くと、目の前には大伴家持が巡行した七尾湾や能登半島を一望できる絶景が広がり、その眺望に驚きの声を隠せません。「こんな山の上に城を築くなんて凄い!」と。

七尾城は昭和9年に国指定史跡、平成18年に日本百名城に認定されました。難攻不落の七尾城や、あの上杉謙信に「絵像に写し難き景勝」と言わしめた眺望を、さらなる魅力あるガイドで多くの観光客に伝え広めていきたいと思ひます。

七尾城 探訪

新連載

毎月担当者を代えて七尾城の魅力をお伝えします。



観光客を案内する観光ボランティアガイド



パンフレットの表紙



本丸から一望できる七尾湾

地域おこし協力隊活動日誌

市で活動する地域おこし協力隊の取り組みを掲載します。

【今日の能登島を詰め込んだ
「まあそいマルシエ」開催！】



企画会議



旗の作製



マルシエの野菜エリア

高校卒業後に能登島を離れ、今年の4月に地域おこし協力隊として戻ってきました。改めて能登島の魅力を実感。能登島には農家の人たちがたくさんいると初めて知りました。同時に、能登島で育った野菜ってどこで買えばいいのかなと疑問も持ちました。

そんな時、能登島の生産者ネットワークの、能登島ベスカグリ・ネットワークが生産者同士が交流できる場を作るために「まあそいマルシエ」を企画すると知りました。地元の野菜に関心のある人が、直接生産者から買える機会になると思い、立ち上げスタッフに手を挙げました。「まあそい」とは、うまそうな、豊かな、太ったという意味です。企画会議を重ねたり、出店者と調整を図ったりと準備に追われましたが、6月30日に初開催、7月28日に第2回を開催できました。能登島内外の農家の人や食事処、雑貨の作り手が毎月テーマに沿って出店し、8月から10月の第4日曜日にも道の駅のとしまで開催予定です。ぜひ皆さんに遊びに来てほしいです。

能登島以外の出店者も募集しています。興味のある人は能登島地区コミュニティセンター内の出島この美までお問い合わせください。



でじま
出島この美さん
(能登島地区)

「地域おこし協力隊」制度は、都市部から過疎地域などへ移住し市から委嘱された人が、住民と協働して地域課題の解決に取り組むことです。

七尾城 探訪

毎月担当者を代えて七尾城の魅力をお伝えします。

「山城」番組には最新技術が欠かせない！

NHK大阪放送局 制作ディレクター 土山 浩之

今年1月に放送した歴史秘話ヒストリア「戦国、山城を動かす」という番組で、七尾城について制作・取材しました。その制作秘話をお伝えします。

標高およそ300m、7つの尾根に広がる七尾城のスケール感を伝えるには、最新技術のドローン撮影が欠かせません。本丸の3段石垣から上昇して、広大な城域を見渡してみると、改めて400年前の土木技術の高さを感じられます。

番組では、市が2年前に行った航空レーザー測量を参考に地形データを作成し、ドローン映像からCG地形図に乗り代わる演出を行いました。外観からは木々が生い茂り、山にしか見えない場所に戦国時代をきた人々の知恵と価値観が浮かび上がってきます。大名が家臣に守られていないことなどから「大名と家臣は対等だった」という、戦国乱世の実像も明らかになりました。新たな歴史研究の舞台にもなっている七尾城に、ぜひ皆さんも足を運んで体感してみてください。



ドローンで撮影した本丸と3段石垣
(「歴史秘話ヒストリア」提供)



ドローン映像から乗り代わったCG地形図
(「歴史秘話ヒストリア」提供)



あみゆんとじっくのライブ



参加していただいた皆さん

市で活動する地域おこし協力隊の取り組みを掲載します。

地域おこし協力隊活動日記

「やってみるの祭典」でみるフェス
パトリア前で路上ライブを
やってみよう!

ネガティブなニュースとして全国で報道された七尾駅前のシンボル、複合商業施設パトリア。「ここで明るいニュースを作りたい！」その一心だけで企画を立ち上げ、その思いに共感してくれた多くの人の協力を得て、路上ライブのイベントを開催しました。

出演者には、七尾市出身のミュージシャン「あみゆんとじっく」や社会福祉法人「つばさの会」、金沢武士団でアーリーナMCを務める「エイトマン」など、全7組が大雨にもかかわらず素晴らしい演奏を聴かせてくれました。足を止めて聴いてくれた高校生やドーナツの差し入れをくれたお客さん、「良い雰囲気だね」と駆け寄ってくれた七尾駅の駅員さん。たった1日限りのイベントでしたが、少しでもにぎわいを生み出せたかなとほっとしています。「ないものはつくる」をテーマに、今回の新しいチャレンジが誰かのチャレンジの背中を押し、七尾の未来が今より少し面白くなっていけばいいのかなと思っています。



とうだ かずま
任田 和真さん
(高階地区)

「地域おこし協力隊」制度は、都市部から過疎地域などへ移住し市から委嘱された人が、住民と協働して地域課題の解決に取り組むことです。



七尾鹿島地域安全ニュース

七尾警察署
七尾鹿島防犯協会
☎53-0110

置引に注意しましょう!

最近、七尾署管内で「置引」の被害が多くなっています。置引とは、置いてある他人の荷物を持ち逃げする事です。携帯電話や運転免許証などから個人情報の漏えいにもつながりますのでご注意ください。

よく被害に遭う事例

- ・公衆トイレなど、財布の置き忘れ。
- ・図書館や休憩所など、荷物を置いたままでの短時間の離席。
- ・給油所やパチンコ店など、精算機などでの釣り銭の取り忘れ。

被害に遭わないために

- ・荷物は目の届く範囲に置き、できるだけ手を添える。
- ・外出時は財布などの貴重品を肌身離さず持ち歩く。
- ・バッグはしっかり抱え、防犯アラームを取り付ける。防犯アラームとは、荷物と持ち主が一定の距離以上離れると自動的に音が鳴り、知らせてくれる防犯グッズです。

被害に遭ったら

- ・速やかに警察に通報し、被害を届け出る。
- ・預金通帳やキャッシュカード、クレジットカードなどが盗まれた場合、悪用されないように直ちに金融機関やカード発行会社などに盗難の手続きを取る。



消防だより

七尾鹿島消防団連合会
(七尾鹿島消防本部)
☎53-0119

火災・救急・救助などの 電話での問い合わせ

市内で発生した災害への問い合わせは「☎53-4999」におかけください。自動音声により「七尾市〇〇地区〇〇町〇〇番地で建物火災が発生しています」などと案内があります。七尾鹿島消防本部ホームページでも災害情報を確認できます。

「119番」は緊急通報用の電話番号です。「サイレンが聞こえるけど、火事はどこですか」などの問い合わせはご遠慮ください。救急車などを本当に必要とする人の通報が後回しになり、救命処置が遅れる恐れがあります。

随時、消防団員募集中です。

●問い合わせ先:七尾鹿島消防本部 消防課(平日8:30~17:15)
☎ 53-1015 FAX 53-3250



第78回七尾城まつりへの思い

七尾城探訪



第78回七尾城まつり実行委員会 会長 飯田 伸一

毎月違う担当者から七尾城の魅力をお伝えします。

今年で78回目を迎える七尾城まつりは、昭和17年10月に、七尾城址の石碑が本丸跡に建立され、国指定に尽力された人や七尾城跡を世に広めた人などの偉業をたたえ開催されたのが始まりです。戦中戦後の時代でも途切れることなく開催され、郷土愛と熱意に満ちた先人たちの運動や功績は、七尾城の歴史的価値とともに私たち地域住民にとってかけがえない財産になっています。

先人の思いを受け継ぎ「難攻不落の七尾城」で開催されてきた七尾城まつりは、立地的に厳しく人手不足の中で、毎年地域住民の支えと創意工夫をもとに運営されています。今年は「癒し」「遊ぶ」「学ぶ」をテーマに掲げ、本丸跡地に神社祭や奉納太鼓、奉納剣舞、チビっ子サムライ武者行列などを行います。新たなにぎわいづくりとして、山麓に城下町を形成していた七尾城の実態を受け、麓の七尾市城山体育館で楽市・楽座を設置し、盛りだくさんの演舞やアトラクションの実演も行います。9月14日(土)に前夜祭、9月15日(日)に本祭を開催しますのでぜひお越しください。



上杉軍と畠山軍、本丸で仲良く記念撮影



チビっ子サムライ武者行列(天神山小5年生)

中島駅まつり開催!

日時 10月13日(日)
9:00~16:00
場所 中島駅前駐車場
スペース

カキなどの飲食ブースや
ミニ新幹線があります。ぜ
ひ遊びに来てください。



成果発表後の打ち上げ



猿田彦を演じる学生

2~7ページに「ノトゲキ」特集掲載!

地域おこし協力隊活動日誌

2019年夏の「大プロジェクト」
「ノトゲキ」大成功!

当初の予測では参加者が10人程度と思っ
ていましたが、実際は17人。「17人の日本大
学芸術学部の学生が23日間も滞在する。す
ごい!おもしろくなりそう」というのがプ
ロジェクトの始まりでした。

ノトゲキでは演劇に地域の要素を取り入
れるため、彼らになるべく自然に地域の人
と交流を楽しめるよう、橋渡しすることが
私の主な活動でした。彼らのコミュニケーション
能力は素晴らしく、アルバイト先や
イベントで出会った人などが次々にファン
になってしまっただけでなく、いつの間にか彼らの
家には代わる代わる人が訪れ、集まる場所
となっていました。

8月31日に能登演劇堂で行われた成果発
表会は、約200人が来場し大盛況に終わ
りました。一番反響が大きかったのは、鈍
打地区の郷愛会の協力で実現した、お熊
甲祭の猿田彦と日本舞踊の共演。その新鮮な
舞いが観客を魅了していました。

今回初めて行われたノトゲキ。携わった
人にとって忘れられない夏になったのでは
ないでしょうか。中島の人たちが笑顔で生
き生きとしていたことが、本当にうれし
かったです。ノトゲキは来年も続けていき
ます。その道筋を作ること、これもまた私
の使命だと思います。



ほんたに ともこ
本谷 智子さん
(中島地区)

「地域おこし協力隊」制度は、都市部から過疎地域などへ移住し市から委嘱された人が、住民と協働して地域課題の解決に取り組むことです。

何も無いじゃなくて何も知らなかった七尾城のこと

七尾城 探訪

毎月違う担当者から七尾城の魅力をお伝えます。

市内在住 歴史ファン

平成26年に参加した七尾城での城あるき。戦国時代よりも奈良時代あたりが好きな私にとって、七尾城にはあまり興味が湧かず「ここに何があるというのだ?」と思っていました。

しかし、そんな思いは講師の奈良大学の千田嘉博教授とゲスト講師の春風亭昇太郎師匠により見事に払拭されました。一見何もない山の中の土手や谷、獣道のような細道が何であるか、どんな意味があるのかを、まるで宝物を見せるかのような解説。「よくこんな巨石や大木を山の上まで持って来れましたね」と感嘆し、全身から城好きが溢れ出ていた二人。素人にも理解しやすく、お城ファンも納得できる解説で正直時間が足りませんでした。ぜひ何度でも足を運んでほしいです。

千田教授は「七尾城はまだまだ整備できる。整備すればもっと当時の様子が分かり、大切な観光資源になる」と話していました。個人的には、畠山氏が七尾城で開催した歌会の講義が開催されたらいいなと思っています。七尾市さん、ぜひよろしくをお願いします。



千田教授と春風亭昇太郎師匠による
七尾城の解説



山に運んで積み上げた石垣の解説



七尾鹿島地域安全ニュース

七尾警察署
七尾鹿島防犯協会
☎53-0110

10月11日(金)~20日(日)
全国地域安全運動 ~みんなでつくりよう安心のまち~

全国地域安全運動は、地区防犯協会をはじめとする地域安全運動に取り組む機関や団体、警察が連携し、犯罪や事故などのない安全で安心して暮らせる地域社会の実現を推進する運動です。

子どもと女性を守るために!

- 通勤通学時は、人通りが多い明るい道を利用しましょう。
- 子どもたちの登下校に合わせ、花の水やりや犬の散歩、ウォーキングなど普段の生活に「ながら見守り」を取り入れましょう。



消費料金に関する
訴訟最終告知のお知らせ

このたびは、ご迷惑をおかけしましたこと、深くお詫言申し上げます。また、今後のために、ご迷惑をおかけしたお客様には、お詫言申し上げます。また、今後のために、ご迷惑をおかけしたお客様には、お詫言申し上げます。

振り込め詐欺に注意して!

- 最近、「〇〇最終告知」などと題したはがきが届き、詐欺の被害に遭う事案が発生しています。七尾署管内でも多くの相談が寄せられています。一人で判断せず家族や警察に相談しましょう。

自転車、車、家に鍵を掛けて! ~鍵かけは 小さな仕事 大きな防犯~

- 七尾署管内で自転車盗難の被害が続出。被害件数は、7月末現在で16件、そのうち15件が無施錠です。大切なものが盗まれないように、普段から自転車はもちろん、車や家の玄関、窓にも鍵を掛けましょう。



消防だより

七尾鹿島消防本部
☎53-0119

ガソリンを容器で購入する人へ

今年7月18日、京都市伏見区で死者34人、負傷者34人の極めて重大な人的被害を伴う爆発火災が発生しました。ガソリンをまいて火を付けたものとみられることから、ガソリンを容器で購入する人は、ガソリンスタンドで次のことを聞かれる場合がありますので、ご理解ご協力をお願いします。



- ①身分証明書の提示
- ②使用目的

ガソリンを取り扱うときの注意事項

- ①ガソリンを灯油用ポリ容器に入れることはできません。ガソリン携行缶をご使用ください。
- ②ガソリン携行缶に貼られている注意事項(右図)に留意して取り扱ってください。
- ③ガソリンの詰め替えは、ガソリンスタンドの従業員が行います。購入者自身で詰め替えることはできません。



ガソリン携行缶



灯油用ポリ容器

! 噴出注意!

- ★周囲の安全を確認
- ★フタを開ける前に
 - ①エンジンを停止
 - ②エア抜きをする
- ★高温の場所禁止

ガソリン携行缶 注意事項



ハウス内で苗を栽培



苗を植える東湊小学校の3年生



イチゴ農家指導の下、いちごの会と一緒に苗作り

市で活動する地域おこし協力隊の取り組みを掲載します。

地域おこし協力隊活動日誌

【 崎山いちご 苗作り1年生 】

「崎山いちご復興プロジェクト」が始まって3年目の今年、地域のボランティアグループ「いちごの会」と共に、苗作りからスタートしました。

地域のイチゴ農家指導の下、親株から子株をポットに取り、ハウス内で苗を栽培。苗取り後1週間は、夏の暑い中、2時間に1回水やりを続けました。気温や品種によって成長速度が違いため、指導通りに水やりや、葉の剪定などを行ってうまくいかず、栽培の難しさを痛感しました。苗が枯れていくのは本当に辛かったです。それでも苗作り1年目。「失敗も勉強の一ツヤ」

「初めてで2千株、上出来やわいね」と言ってくれる地域の人たち。そんな皆さんと今後も崎山いちごを生産、PRしていきます。

10月には、東湊小学校の3年生と苗を植えました。地域の子どもたちが「イチゴといえは崎山いちご」となるよう、この定植活動を続けていきます。

今年ハウスでも栽培しているので、冬の崎山いちご店頭に並ぶかもしれません。そのときは、ぜひ市内唯一のイチゴブランド「崎山いちご」をお楽しみください。



新田恭平さん (崎山地区)

「地域おこし協力隊」制度は、都市部から過疎地域などへ移住し市から委嘱された人が、住民と協働して地域課題の解決に取り組むことです。

麓に広がる「七尾城」

七尾市文化財保護審議会 会長 塚林 康治

旧道を登らずとも、麓で十分に七尾城をイメージできます。

その昔、東福寺の禅僧・彭叔守仙が来城し、「(農免道路周辺) 帯には家並が一里余も連なり、市は多彩な物の売り買いで賑わっている」とその様を「独楽亭記」(天文13年・1544)に遺しています。今は水田で面影はありませんが、地下にはその頃の人々の遺構が静かに眠っています。しかし、田畑の俗称地名がその存在を教えてください。ほんの一例として、

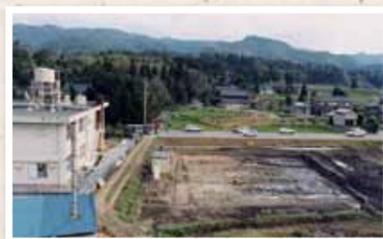
①「カンジャ畑」。能越道建設に伴う緊急発掘調査で、溶けた金が付着した埴塙や炉跡が出土し、鍛冶屋集団がいたことが判明しました。カンジャとは「カジヤ」のことだったのです。

②「シッケ地区遺跡」。平成3年のデイサービスセンター建設による発掘調査で、住居跡からげたや漆椀などの生活用品が出土。湧水地のためシッケと呼ばれてきましたが、おかげで遺物が腐ることなく地下保存されていました。

俗称地名も歴史史料です。いつの日か、七尾版「一乗谷遺跡」として当時と変わらないそのままの姿が出現することでしょう。



カンジャ畑から出土した埴塙 (公財)石川県埋蔵文化財センター提供



シッケ地区遺跡(古屋敷町)

七尾城探訪

毎月違う担当者から七尾城の魅力をお伝えします。



七尾鹿島地域安全ニュース

七尾警察署
七尾鹿島防犯協会
☎53-0110

不審者に注意しよう!

日没が早くなり、子どもたちの下校時には外が暗くなっています。いま一度、不審者に会ったときの対応や約束事などを親子で確認しましょう!

「いか・の・お・す・し」で再確認!

- い知らない……知らない人に付いていかない。
- のらない……知らない人の車に乗らない。
- おおこえて叫ぶ……怖いと思ったら大声を出して助けを求めろ。
- すぐ逃げる……危険を感じたらすぐに走って逃げる。
- しらせる……何があったか近くの人に知らせる。

社会全体で児童虐待防止

いちはやく 知らせる勇気 つなぐ声

あなたの1本の電話で救われる子どもがいます。児童虐待かもと思ったらすぐに電話してください。189にダイヤルすると近くの児童相談所につながります。



子どもには、だまされやすそうな言葉や理由を考え、具体的に教えると効果的!

虐待かなと思ったら…

イチハヤク

189

児童相談所
全国共通
ダイヤル



消防だより

七尾鹿島消防本部
☎53-0119

秋季火災予防運動を実施します

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたって、火災予防思想の一層の普及を図ります。火災の発生を防止し、高齢者などを中心とする死者の減少や財産の損失を防ぐことを目的としています。

七尾市第1消防団は、11月3日(日・祝)に七尾サンライフプラザ周辺で火災防ぎょ訓練を実施しました。

火災防ぎょ訓練

七尾市第2消防団

●日時/11月17日(日) 8:00 ●場所/大津町地内

中能登町消防団

●日時/11月10日(日) 7:00
●場所/社会福祉法人鹿南福祉会 鹿寿苑(中能登町西馬場)

防火ポスター優秀作品の展示

●期間/11月8日(金)~17日(日) ●場所/アル・プラザ鹿島
●期間/11月18日(月)~24日(日) ●場所/のと里山里海ミュージアム

住宅用火災警報器設置普及キャンペーン

●日時/11月10日(日) 9:30~11:30
●場所/のとしま水族館 ※入館料が必要です。
●イベント内容/防火啓発グッズの配布、消防車乗車体験など





7月28日開催の第2回まあそいマルシェの様子



新商品「のどじまバトンケーキ」



能登島の素材を使った米菓子やみそ、海塩、藻塩(左から)

市で活動する地域おこし協力隊の取り組みを掲載します。

地域おこし協力隊活動日記

【能登島の「まあそい」魅力を発掘中！】

地域おこし協力隊に着任して半年以上が経ちました。現在は能登島地域づくり協議会で、能登島の素材を使った土産「まあそい商品」の販売管理を担当しています。主な内容は、同協議会で販売しているまあそい商品の納品やその在庫の管理です。

まあそい商品には、能登島で採れた唐辛子と八太郎漬けのみそを使った「なんば味噌」や「能登島の海塩」など約20種類があり道の駅のとじまや島内の民宿で販売しています。さらに今年は、能登島の米粉と塩を使った新商品「のどじまバトンケーキ」を販売することができました。パッケージは能登島に事務所がある能登デザイン室の奈良雄一さんが制作。その企画会議やデザイン選びなどに参加しました。この商品も道の駅のとじまで販売していますので、ぜひ手に取ってみてください。

他にも今年は「まあそいマルシェ」を6月から10月の第4日曜日に開催しました。毎月テーマを変えて食べ物や飲み物、クラフト(手作り雑貨)を販売し、多くの人に楽しんでもらえました。来年も開催を予定しています。ぜひお越しください。



でじまみ 出島この美さん (能登島地区)

「地域おこし協力隊」制度は、都市部から過疎地域などへ移住し市から委嘱された人が、住民と協働して地域課題の解決に取り組むことです。

「隠し道」もう1本の登り道

七尾市文化財保護審議会 会長 塚林 康治

七尾城へ登る道は旧道(大手道)だけでなく、実はもう1本あります。しかし、地元の人以外にはほとんど知られていません。

矢田町大門地区から城山展望台へ続く「小松原道」。尾根筋を掘り込んで作られ、最深部は3mほどあります。旧道とは比較になりません。土橋や土塁、落とし石、迷路などの防御面を備え、山頂手前では自動車道建設で寸断された大門道(道路脇に遺構あり)につながっています。

この素晴らしい登り道が、なぜか江戸時代の幾多の古地図にも記されていません。平成5年、これを知った当時の東部中学校3年生たちは、きっと知られたくない秘密の道なんだろうと、通称「隠し道」と呼び合ってきました。

隠し道を世に広めたのは、この中学生たち。保護者や学校、市商工観光課、校区民、地方史研究者など総勢400人余りで登山道の草刈り作業を実施し、全貌を明らかにしました。その後、有志の生徒たちが自力で登り道を測量し、歴史的背景を研究した結果、郷土史の研究活動に優れた成績を上げたものに与えられる「本岡三郎郷土文化賞」第1号を受賞しました。



尾根筋を掘り込んで作られた小松原道



隠し道を塞ぐ巨石と測量する中学生

七尾城探訪



七尾鹿島地域安全ニュース

七尾警察署
七尾鹿島防犯協会
☎53-0110

12月15日(日)~令和2年1月5日(日) 年末年始特別警戒を実施します！

年末年始は、強盗などの凶悪事件や振り込め詐欺、道路の凍結などによる事故の発生が懸念されます。七尾警察署と七尾鹿島防犯協会は警戒活動を強化し、安全で安心なまちづくりに努めます。

皆さんも鍵掛けによる盗難防止や反射たすきの着用による交通事故の防止を心掛け、見守り活動による子どもの犯罪被害の抑止などにご協力ください。



「電子マネーを買って番号を教える」は詐欺！

県内では、コンビニなどで電子マネー(カード)を購入させ、そのカード番号を聞き出すという特殊詐欺が発生しています。電話やショートメール、SNSから「有料サイトの未納料金があります。電子マネーで支払ってください。カードを買って、その番号を教えてください」などと連絡がありましたら、まずは詐欺を疑いましょう。

高齢者に限らず若者も被害に遭っています。不安を感じたら、家族や友人、七尾警察署にご相談ください。



消防だより

七尾鹿島消防本部
☎53-0119

冬こそヒートショックに注意して！

皆さん、ヒートショックを知っていますか？ヒートショックとは、気温の変化により急激に血圧が上がったり下がったりすることで体がダメージを受けることです。冬場のお風呂やトイレで起こりやすく、多くの人が亡くなる原因の一つとなっています。

暖かい部屋から寒い脱衣所や浴室に入ると、寒さで血管が急激に収縮し血圧が上がります。その後浴槽に浸かると、血管が急激に広がり血圧が下がります。この急激な血圧の乱高下により体はダメージを受け、意識を失って溺れたり心筋梗塞や脳梗塞などを患ったりします。12月、1月で最も多く発生し、特に65歳以上の高齢者は注意が必要です。

大切な命を守るため、寒さに対し油断や我慢をせずにヒートショック対策を行いましょう。



対策

- 1 脱衣所やトイレを暖める。
- 2 お風呂の温度を41度以下に設定する。
- 3 飲酒後の入浴は控える。
- 4 入浴するときは家族にひと声掛ける。

